

令和3年度予算

一般会計

994億4,900万円

特別会計

455億5,890万円

一般会計予算
10,000 円のゆくえ

	1,649 円
	4,822 円
	702 円
	515 円
	128 円
	823 円
	1,106 円
	76 円
	134 円
	5 円
	40 円
合計 10,000 円	



かがやく渋谷

自由民主党議員団区政報告特集 第96号

令和三年度当初予算が可決成立しました

ワクチン接種等の感染症対策により 区民の安全・安心を守ります!!

新型コロナウイルス感染症対策については、区独自PCRセンターや特別融資あつせん制度の継続に加え、今後のワクチンの本格接種を見据え、各医療機関での個別接種、さらに集団接種、訪問接種等の体制を整備します。また、予約システムやコールセンター、さらに外出を控える方も気軽に相談できるオンラインでの健康相談等の体制も併せて整えます。

今年度の主な施策としては、地域福祉の中核を担う福祉施設が順次サービを開始となります。4月に「恵比寿西二丁目複合施設」(区営住宅・認可保育所・看護小規模多機能型居宅介護事業所等)、5月には高齢者ケアセンター跡地に「かなみの杜・渋谷」(特別養護老人ホーム等)、夏には神南分庁舎跡地に子育て支援の拠点となる施設

「渋谷区子育てネウボラ」が完成します。教育施策としては、最新のタブレット端末を活用し、専門家や他地域と繋いだ形での遠隔授業や、不登校児への支援等を行います。また学習履歴等の教育ビッグデータを活用し、一人一人の個性や力を引き出す教育を行うとともに、本区の歴史や文化を学ぶ「シブヤ科」をスタートさせます。

まちづくりでは、落書き対策として問い合わせセンターを開設し、所有者等からの依頼を受けて区が直接消去を行う体制を整備します。また首都高速四号線の高架下利活用など西参道プロジェクトや、玉川上水旧水路緑道の再整備を推進します。

渋谷区議会自民党議員団は引き続き、安全・安心なまち渋谷の実現に向け、全力で区政課題に取り組んでまいります。

「デジタルデバйд解消事業」が スタートします!!

65歳以上の高齢者を対象に
3000台のスマホを貸与

高齢者を対象とした「デジタルデバйд解消事業」が開始されます。

我が会派ではかねてより、ICTに不慣れな高齢者等が大切な情報を受けられないなど、情報格差が生じないための施策の充実を強く要望してきました。それを受け、今年度本区では予算3億6500万円を計上した対策が開始されることになりました。

まずは本年9月から令和5年8月まで、スマートフォン(スマホ)を保有していない65歳以上の区民を対象に、通話料や通話料は区の負担としたスマホ最大3000台を貸与します。そして使い方を講座やコールセンターを設置し、個別相談会「なんでもスマホ相談」を拡充するなど、気軽にスマホ等の使い方について相談できる体制を整え、ニーズに応じた継続的なサポートを行います。

またデジタル活用支援員を募集・育成・登録してスマホに不慣れな方もオンライン申請や、健康アプリ、防災情報といったスマホを活用したサービスを受できるよう、環境整備を進めてまいります。



「令和3年度(2021年度)渋谷区当初予算案の概要」より